

# 十勝川中流部市民協働会議\_活動記録 (30)

## 第1回 十勝川サロルンリムセの開催

旧千代田パークホテルの解体後の景観が一新された「千代田堰堤展望公園」にて、アイヌ民族伝統舞踊と十勝川中流部の周辺で多く見ることが出来るようになったタンチョウの観察会を開催しました。

タンチョウの観察会は、日本野鳥の会十勝支部（支部長：室瀬氏）によるガイドのもと行われ、十勝川右岸幕別町札内地区の畑でタンチョウ（幼鳥 2羽）を観察することが出来ました。

「十勝川サロルンリムセ」では、帯広カムイトウポポ保存会と平取アイヌ文化保存会によって、それぞれの地区に伝承されてきた伝統舞踊の「鶴の舞」を披露していただきました。

- 日 時：平成 31 年 3 月 24 日（日） 10：00～12：30
- 場 所：千代田堰堤展望公園
- イベントスケジュール： 10：00 タンチョウ視察会  
10：40 アイヌ民族伝統舞踊（サロルンリムセ他）
- 主 催：十勝川サロルンリムセ実行委員会
- 協 力：帯広カムイトウポポ保存会、平取アイヌ文化保存会、浦幌アイヌ協会、帯広アイヌ協会、上士幌アイヌ協会、本別アイヌ協会、幕別アイヌ協会、芽室アイヌ協会、日本野鳥の会十勝支部、十勝川中流部市民協働会議

### タンチョウ観察会

タンチョウの観察会は、一般参加者 8 名の応募があり、日本野鳥の会十勝支部（支部長：室瀬氏）によるガイドのもと、十勝川右岸の幕別町札内地区の畑でタンチョウ（幼鳥 2羽）を見ることが出来ました。

また、メン川沿いの木にとまっているオジロワシ（成長 2羽）も観察することができました。



タンチョウ観察会の参加者



日本野鳥の会（室瀬支部長）



タンチョウを観察する参加者の様子



観察ができたタンチョウの様子



前日に観察したタンチョウの様子

## 「十勝川サロルンリムセ」

当日は曇り空でしたが、「十勝川サロルンリムセ」が始まる頃、吹雪になり、演舞が終了し跡片付けを始めた頃には青空が現れました。平取の会長が挨拶の中で「平取から雪を持ってきました」と仰っていましたが、正に青天の霹靂と思えるような状況でした。そのような中、演者と観客が一体となり楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



千代田堰堤を背景とした会場の様子



十勝川サロルンリムセ実行委員長 小川氏の挨拶



平取アイヌ文化保存会会長による挨拶



民芸品の展示・販売



音響設備

●平取アイヌ文化保存会による伝統舞踊

平取アイヌ文化保存会の皆様には、安全を祈願する「タブカラ」と、湿地で遊んだり大空を舞ったりする鶴の様子「ハララキ」を披露して頂きました。



「タブカラ」演舞の様子



「ハララキ」演舞の様子



「ハララキ」演舞の様子

● 帯広カムイトウポポ保存会による伝統舞踊

帯広カムイトウポポ保存会の皆様には、ひな鶴が親鳥から飛び方を教わり大空に旅立つ様子を表す「サロルンリムセ」の他に、弓の舞「クムセ」と剣の舞「エムシリムセ」を披露して頂き、最後に一般参加者と一緒に輪を作って舞を楽しむ「ポロリムセ」を踊りました。



「サロルンリムセ」演舞の様子



弓の舞「クムセ」演舞の様子



剣の舞「エムシリムセ」演舞の様子



「ポロリムセ」舞踊の様子



終わりの挨拶